

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

5

福岡県立京都高等学校

自己評価				
学校運営計画(4月)				評価(総合)
学校運営方針	地域のみならず世界を舞台に活躍する人材を育成する。			
昨年度の成果と課題	令和5年度重点目標	具体的目標		
	生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業改善を行う。	ICTを活用した授業改善を進める。 公開授業週間を充実する。	B	
	「京都グローバル人材育成プロジェクト」の充実のため、地域・大学・企業等との連携を進める。	総探・ホームルーム活動での大学・企業等の連携を充実させる。 地元地域との連携を充実させる。		
	学校行事をとおして、生徒の主体性、協調性、社会性、リーダーシップを育成する。	学校行事を生徒主体で運営させる。 行事での生徒間の協力体制を充実させる。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教育振興班	成績・出欠管理を確実に行う	支援システムへの成績の入力および毎日の出欠入力を全職員で確実にを行うため、マニュアルの整備を行い、連絡を徹底する。	D	C
情報管理班	職員・生徒のICT機器・オンラインツール活用推進と技能向上を図る	職員の授業でのICT活用のサポートのための、校内研修や機器、ソフトウェアのマニュアルを充実させる。	B	
生徒指導班	生徒の主体的な活動を支援し、積極的生徒指導を推進する	学校行事や部活動等を通じ、生徒を多面的に支援し、能力が発揮できるよう指導する。	B	B
生徒支援班	生徒の現状に合わせた人権感覚の育成を図る	ホームルームや授業などあらゆる学校生活の場面において、他者の人格を尊重し本校への帰属意識を高めさせる。	B	
進路指導班	生徒が自己を理解し、将来の進路に向けて自発的に学習に取り組むよう指導援助する	HR活動における進路指導・学年集会・進路講演会・進路説明会・個人面談の充実を図る。	B	B
地域連携班	本校の魅力を発信して、志願者数を増やす	本校の様子をこまめに発信するとともに、地域との連携を通じて本校生との教育効果の向上を目指し、本校の魅力をPRする。	B	
研修図書班	図書館の利用者および貸出冊数を増加させる	新たな取り組みを行う等、生徒への働きかけを強化する。	B	B
企画庶務班	学校行事が円滑に進むように丁寧に取り組む	学校行事の企画・実施に当たっては、前年度の反省や引継事項を検討し、早めに計画して業務に取り組む。	B	

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
B	A : 適切である
	B : 概ね適切である
	C : やや適切である
	D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
B	・学区の旗艦校として、地域の信頼に応えてほしい。大学入試改革が過渡期の中で幅広い学力層に対応する個別最適の仕組を早急に整えて欲しい。
B	・真面目すぎることで能力の伸長の妨げとなることがある。従来の「教え込み」からの脱却が必要であるのではないかと。生徒が学校行事等の当事者となり、自主性を高められるような働
A	・一つの価値観にとらわれず、多様性を認め、ユニークで多様な学修背景や視点をもつ優秀な人材を集め、イノベーション(学校改革)の原動力としてほしい。
B	・日常様々な問題・課題に柔軟かつ迅速に対応してもらっているが、それが本校の改善点であると認識し、教職員全体で取り組んで欲しい。PTA、同窓会等は協力を惜しまない。
評価項目以外のものに関する意見	
・特色化選抜を含む高校入試の動向	

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・<教科教育> 意欲と考える力の伸長 ・主体的・協働的学習の推進
- ・<キャリア教育> 個に応じた学力向上への支援 ・社会とつながる課題研究の推進 ・自己実現につながる進路探究の推進
- ・<特別活動・部活動> 生徒が主体となる学校行事の推進 ・人間力を伸ばす生徒会活動、部活動の推進